

## 輪島市ゼロカーボンシティ宣言

～世界に誇る地域資源を育み、活かし、未来へつなぐ～

本市は、2011年に世界農業遺産「能登の里山里海」に認定された能登半島の北部に位置し、ユネスコ無形文化遺産「能登のアマメハギ」、日本遺産「灯り舞う半島 能登～熱狂のキリコ祭り～」、重要無形民俗文化財「輪島の海女漁の技術」、日本三大朝市「輪島朝市」などの伝統文化や伝統工芸「輪島塗」、国名勝「白米の千枚田」、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」、また、この北前船により禅文化を全国各地に広めたとされる開創700年「大本山總持寺祖院」など、世界に誇る類い希な地域資源を有しております。こうした地域資源は豊かな自然環境のもとで人の営みと一体となって育まれ、連綿と受け継がれてきたものであり、本市の大きな魅力として県内外を問わず多くの方々に観光に訪れていただいております。

こうした中、近年、世界各地で記録的な猛暑や集中豪雨などの異常気象が頻発しており、温室効果ガスの影響による地球温暖化の傾向は、将来の危機的状況に警鐘を鳴らす最も注視すべき環境問題のひとつとなっております。本市におきましても、市民が暮らしやすいまちづくりやあふれる地域資源を未来へと継承していくためには、地球温暖化対策を加速させることが必要不可欠であります。

本市は、このような課題に直面する中で、市民の皆様や事業者の皆様とともに、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和4（2022）年6月14日

輪島市長

坂口 茂